

# 令和2年 県政おもなできごと(諏訪地域)

諏訪地域振興局  
 諏訪保健福祉事務所  
 諏訪建設事務所

月	タイトル	内容	所管
通年	新型コロナウイルス感染症対策への取組	<p>令和元年12月以降、海外において新型コロナウイルスの患者が断続的に報告されるようになり、令和2年1月には日本国内初の患者が確認されたことから、諏訪地域においても以下の取組を進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の方が相談しやすい体制として、新型コロナウイルス感染症に関する電話相談等の業務を開始(1月)</li> <li>・感染が疑われる方の相談を受け付ける「新型コロナウイルス感染症有症状者相談窓口」を設置(2月)</li> <li>・事業者に向けて新型コロナウイルスの影響に対する経営・雇用に関する支援を強化(3月～)</li> <li>・諏訪圏内において初の新型コロナウイルス感染症患者を確認(4月)</li> <li>・感染拡大防止を図るため、市町村と連携して住民及び観光客に向けた啓発を強化(4～5月)</li> <li>・新型インフルエンザ等対策特別措置法第24条9項の規定による施設の使用停止(休業)等について、営業状況の確認及び「夜の街」パトロールを実施(5月)</li> <li>・新型コロナウイルス感染症により経済的影響を受けている中小事業者を支援するため、「諏訪地域 産業・雇用総合サポートセンター」を設置(6月～)</li> <li>・更なる検査体制の確立のため、諏訪圏域6市町村による「諏訪医療圏地域外来・検査センター」を開設し、圏域内の3医師会による運営を開始(6月～)</li> <li>・医療従事者や感染者に対する誹謗中傷を防止するための取組を実施(8月～)</li> <li>・事業者や自治会等へ感染拡大防止を徹底してもらうため、ガイドライン周知・推進に係る取組を強化(9月)</li> <li>・社会福祉施設の感染症研修会を開催(9月～12月)</li> <li>・季節性インフルエンザの同時流行に備え新型コロナウイルス感染症に係る相談・検査体制を変更(11月～)</li> </ul>	地域振興局  保健福祉事務所
1月	原村の中新田南ため池の改修工事が完了	<p>平成30年12月に着工した原村の中新田南ため池の改修工事が完了しました。ハヶ岳山麓裾野に広がる197haの農地に用水を供給する南ため池は、老朽化により災害の心配がありましたが、本工事に よりため池の安全性を確保し、用水を安定して供給できるようになりました。</p>	地域振興局
4月	森林経営管理制度がスタート	<p>平成31年4月の森林経営管理法の施行を受け、森林経営管理制度による森林管理を円滑に促進するため、管内6市町村と諏訪地域振興局を構成員とする「諏訪地域森林経営管理制度推進協議会」を4月1日付けで設立しました。</p> <p>各市町村においては、令和2年度末までの市町村実施方針の策定を目標としており、次年度以降の市町村管理に係る森林所有者への意向調査の準備が進められています。</p>	地域振興局
	受動喫煙防止のための新たなルールがスタート	<p>「望まない受動喫煙」をなくす改正健康増進法が4月1日から全面施行され、多数の者が利用する施設、飲食店等は原則施設内禁煙となることから、関係者をはじめとして広く制度の周知を図るとともに、施設からの個別の相談に対する助言・指導を行いました。</p>	保健福祉事務所
5月	霧ヶ峰(車山肩地区)で電気柵を延長	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、例年のように一般のボランティアの参加が見込めない中、地権者と行政職員が中心となって、5月～10月にかけ霧ヶ峰において、鹿などの食害を防ぐ電気柵の設置、外来植物の駆除、優占植物の抑制などの生物多様性の保全・再生を推進するための様々な活動を実施しました。電気柵については、本年、柵を400m延長し、10.5kmに渡り設置を行いました。</p>	地域振興局

月	タイトル	内容	所管
6月 8月	諏訪湖スマートインターチェンジのアクセスルート案を公表	6月29日に岡谷市小坂地区、8月4日に諏訪市有賀地区で開催された説明会において、諏訪湖スマートインターチェンジのアクセスルート案を地元住民に提示し、了承をいただきました。引き続き、令和5年度末の供用開始を目指し、諏訪市・岡谷市と連携を図りながら、事業の進捗を図ってまいります。	建設事務所
7月	富士見町母沢川砂防堆積工の完成	平成30年10月の台風24号により発生した土石流の緊急対策として富士見町小六に築造していた砂防堆積工が完成し、7月27日に地域住民等約30名参加のもと、富士見町との共催により完成見学会を開催しました。今後も、住民の安全・安心な生活確保のため、溪流保全工等の事業を進めてまいります。	建設事務所
	諏訪湖周サイクリングロードの一般開放区間の延伸	昨年、諏訪市新川橋～武井田川橋の区間が開通していた諏訪湖周サイクリングロードについて、さらに武井田川橋～六斗川橋までの約1,090mの区間も完成したため、7月29日に一般開放しました。通り初めに参加した住民からは「諏訪湖を眺めながら安全に走行出来て気持ち良い」等の感想をいただきました。	建設事務所
	八ヶ岳・霧ヶ峰の魅力発信の開始	八ヶ岳の岳麓地域(茅野市、富士見町、原村)の道路を、景観の優れた特色ある観光道路として広く発信するために、写真共有アプリ「Instagram」(インスタグラム)及び地図アプリ「Googleマップ」による「八ヶ岳周辺道路ビュースポット」の紹介を、7月30日から始めました。 道路付近から望むことのできる雄大な山々、爽やかな高原の風景、色鮮やかな自然のコントラストなど、素晴らしい景色の写真やその位置情報を紹介しており、多くの方に閲覧いただいています。	地域振興局
9月	諏訪市武井田川改修事業の完了	30年の期間を経て、諏訪市武井田川の河川改修事業が本年6月に完了し、9月9日には完成記念式典が開催されました。式典の出席者からは「安全・安心な生活を守る治水工事の完成は、地元住民の長年の願いだった」との言葉をいただきました。	建設事務所
10月	「諏訪湖の日プロジェクト」の推進	10月1日の「諏訪湖の日」を間に、概ね9月から10月に行われた諏訪湖に関する20の企画を「諏訪湖の日プロジェクト」として一体的に発信しました。コロナ禍の中でしたが、様々な団体が感染症対策に工夫を凝らしながらオンラインマラソン、カヌー体験などの企画を実施し、子どもから大人まで多くの方が諏訪湖に親しむ機会となりました。	地域振興局
	しあわせ信州移動知事室(諏訪地域)の開催	諏訪地域では3回目となる「しあわせ信州移動知事室」を、10月15日～16日の日程で実施しました。 「拡大版 諏訪地域戦略会議(市町村長との意見交換会)」において「長野県DX戦略」等に関する意見交換を行ったほか、Withコロナ時代の産業振興、移住交流を核とした地域づくりについて、関係者との意見交換を行いました。 また、新型コロナ対策実施中の観光施設・企業の視察や関係者との意見交換も行き、各行事を通じて知事はあらためて諏訪地域のポテンシャルの高さを実感していました。	地域振興局
	茅野市玉川の神之原広田換地区のほ場整備事業が完了	農作業の省力化や農業経営の合理化を図るとともに、担い手農家の育成を目的として、平成27年度から事業を行ってきた茅野市玉川の神之原広田換地区のほ場整備事業が平成30年度に終了し、これに伴う権利関係の設定等について10月31日に権利者会議を開催し承認をいただきました。これにより本換地区の事業が完了しました。	地域振興局

月	タイトル	内容	所管
11月	国道20号諏訪バイパスに係る都市計画原案を公表	国道20号諏訪バイパスに関し、国のルート・構造原案の発表を受けた県としての都市計画原案を公表し、11月16日から25日にかけて、諏訪市、下諏訪町で計6回に渡り、説明会を開催しました。今後も、地域の様々な意見を伺いながら、都市計画決定の手続きを進めてまいります。	建設事務所